

事業番号	14 03 04	事業改善シート (26年度実施事業分)			<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	高等学校理科教育設備・産業教育設備整備事業費				担当課	部局	教育委員会事務局	
総合5か年計画	プロジェクト				課・室	高校教育課		
	施策の総合的展開	7-1 子ども一人ひとりの個性や能力を伸ばす学校教育の充実 2 信州に根ざし世界に通じる人材の育成			E-mail	koko@pref.nagano.lg.jp		
					実施期間	S27 ~		

1 事業の概要

目指す姿	理科教育を通じて科学的な知識、技能及び態度を習得させるとともに工夫創造の能力を養う。また、専門教育により最新の知識を身につけ、産業社会を支える人材を育成する。
------	---

現状 (予算編成時)	<ul style="list-style-type: none"> 理科教育設備 平成26年度からの新学習指導要領完全実施に向けて、5か年計画(平成21~25年度)で必要な設備を整備しているが、整備基準額に対する本県の整備率は平成24年度末で9.6%にとどまっている。老朽設備の整備を年3校程度実施。 産業教育設備 平成25年度は、6月補正を含め67品目の更新を行った。学習用の電子計算組織は6年リースで整備している。
------------	--

県が関与する理由	県でなければ実施不可(その他) 【左記の説明、根拠法令等】 ・県立高等学校の設備整備事業 ・国庫補助(理科教育設備整備費等補助金)の活用 県民との協働による実施: 実施は困難
----------	---

成果目標・事業内容	① 成果目標 (H26)					
	<ul style="list-style-type: none"> 理科経区設備の整備率の向上(0.1%) 老朽設備の更新(理科教育設備及び産業教育設備) 					
	② 事業内容 (単位:千円)					
	項目	実施方法	H26事業実績	H26 (当初)	H26 (決算)	H27 (当初)
	理科教育設備整備	直接	・整備率向上のための設備整備 ・老朽化した設備の更新4品目(4校)	12,265	12,095	11,914
産業教育設備整備	直接	・設備の修繕・老朽化した設備の更新13品目(13校) ・電子計算組織等のリース・運営・維持	258,129	250,942	258,317	
合計			270,394	263,037	270,231	

事業コスト	区分(単位:千円)	24年度	25年度	26年度	27年度
	前年度繰越				
	当初予算	274,199	265,559	270,394	270,231
	補正予算		358,476		
	合計(A)	274,199	624,035	270,394	270,231
	一般財源	268,701	260,035	264,878	264,805
	県債				
	国庫支出金	5,498	5,524	5,516	5,426
	その他	0	358,476	0	0
	決算額(B)	247,822	613,160	263,037	
概算職員数(人)	0.50	0.50	0.50	0.50	
概算人件費	4,129	4,129	4,129	4,129	
概算事業費(B(A)+C)	251,951	617,289	267,166	274,360	

成果目標の達成状況					
項目	H25末(実績)	H26			H27目標
		目標	成果	達成状況	
理科教育設備の整備率	9.7%	9.8%	9.9%	達成	10.0%
老朽産振設備の更新	32校	6校	13校	達成	6校
老朽理科設備の更新	83校	4校	4校	達成	4校

目標に対する成果の状況	・事業により、老朽理科設備の更新を4校、老朽産振設備の更新を13校で実施することができ、期待どおりの成果であった。
-------------	---

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 ・設備の老朽化により設備整備のニーズが高まっており、学習環境の向上を図るため老朽設備の更新を継続的に実施していく。
--------------------	--